

高津区おはなしアーカイブ

- 吉田 知敬(よしだ ともゆき)さん
昭和17年生まれ 72歳
川崎市高津区梶ヶ谷在住



◆3歳で家長になりました

私は生まれてからずっと今の家があるところで暮らしてきましたが、子どもの頃は馬絹という地名でした。今は梶ヶ谷1丁目という住所です。(昭和47年地名変更)

私は小さいころに父を亡くしています。父が亡くなったのは昭和20年でした。私が2歳8ヶ月のときですね。病死です。父のことは全然覚えていませんけれどね。

家督相続って知ってます?一家の主が亡くなったら、長男が身分財産すべてを1人が継ぐんです。6人兄妹で、姉が4人と妹が1人いて、男は私1人。それに祖母と母の8人家族。ですから私は3歳のときから家長になったわけ。

もう、物心ついたときからずっと「跡取りだからしっかりしなくちゃ」、「がんばって家や畑を守らなくちゃ」って言われっぱなし(笑)。

私には娘が2人と息子が1人いまして、娘は2人とも結婚して、近所に住んでいます。孫は西梶ヶ谷小学校に通ってますよ。

◆ホオジロを捕ったり、鉄砲作ったり

この地区には農家が5軒あったんだ。幼稚園なんてないから、小さい頃は近所の子どもと遊んでました。同じ年代の子どもが多かったね。

遊びは、凧揚げ、独楽回し、メンコ、缶けりや鬼ごっこだったね。女の子はお手玉とかね。

小学校の高学年位になると、ホオジロを捕る仕掛けを作ったりもしたな。木とワイヤと捕虫網を使って作った仕掛けに稲穂と粟なんかをエサにして入れておくんだ。夕方に仕掛けて翌朝見に行くの。猫に食べられてる時もあったけど、3日に1回くらいは捕れたよ。まあ、捕れた時にはたいてい死んでいるんだけどね。

あとね、コウモリ傘の支柱を加工して鉄砲作ったこともあった。紙火薬を使ってね。スズメなんかを狙って撃ったけど捕れたことはなかったな。あれは後で大目玉喰らっちゃったよ(笑)。

◆農協に「子ども貯金」をしていました

小学校は宮崎小学校に通いました。砂利道をね、45分歩いて通ってました。クラスは50人くらいでしたね。

今でも毎年クラス会をやっていますよ。いつも10人くらい集まるかな。

小学校の頃も手伝いはしていましたけれど、それでも友達と遊べた。友達と遊べたのは小学校卒業するまでですね。

学校が違うから、梶ヶ谷の人たちとの付き合いって、ほとんどなかったです。

給食にコッペパンが出たっけ。固かったな。(笑)農家は食べ物に困ってないだろうって配給がなかったんだ。パンは引換券がないと買えないの。だからパンが食べたかったよ。

電信柱の足元のあたりを探すと銅線の端切れが落ちてるんです。それを拾って集めると売れるんです。コツコツと稼ぎましたよ。(笑)

小学校では「子ども貯金」っていうのを奨励していてね、クラスでお金を集めて、まとめて農協に預けていました。でも、あのお金、何に使ったのか、最後はどうなったのか、ぜんぜん覚えていないなあ。(笑)

◆畑仕事が忙しいと母が学校へ呼びに来るんだ

中学になったら帰宅後に遊ぶなんてことは全くなくなりましたね。学校は徒歩5分

の宮崎中学校でした。弁当持って通いました。3クラスあって、1学年107人、全校で300人くらいですね。宮崎小学校から上がった子がほとんどで、野川小学校から上がってきた子が数人いました、

部活なんてなかったです。帰宅したらすぐに田畑の手伝い。母子家庭で私しか男手がなかったから、忙しい時には母が学校へ呼びに来てました。

皆、家が農家だから学校もそのへんのこととは大らかでしたよ。

田んぼと畑と両方やっていましたが、割合は畑の方が多かったです。この辺りは畑が多い地域なんです。

毎年4月～5月は筍の出荷が忙しかったですねえ。宮前区馬絹寺台の人たちと一緒に、築地へ車を出していました。

田んぼは家から離れたところにありました。今の宮崎台小学校の近くと、梶ヶ谷武蔵野南線の所です。

◆進路指導に行ったら、もう行き先が決まっていた？！

高校は県立川崎高校に進みました。中学の時に進路指導で学校と親との面談があったんですが、帰ってきた母が「もう行き先は決まっとるみたい」と。どうも本人も知らぬうちに勝手に推薦枠で決められてたみたいです(笑)。

高校に通ってたころは、帰宅は夕方だったからねえ、もう畑仕事なんてできなくな

ってしまったね。手伝えたのは日曜日と夏休みだけ。母が1人で頑張っていました。

母はいわゆる女傑でね、82歳で亡くなったんだけど、80歳まで畑仕事やりましたよ。本当によく頑張ってたなあ。

◆法律家を目指すとな家の手伝いができなくなるからね

大学は中央大学の法学部に行きました。千葉大の園芸学部と迷ったんだけど中央大学にしました。

司法試験は受けてないんです。まあ、時間がもっとあったらね、司法試験も受けたと思いますよ。でも、司法試験を目指すのなら、朝から晩まで本と睨みあってなきゃならない。そうしたら農作業の手伝いをしてる時間がなくなっちゃうでしょう？

で、結局サラリーマンになりました(笑)。

それもねえ、親戚が大手家電会社の子会社で代表取締役をやってたんですけど、たまたま遊びに行ったら、「おう、丁度いい。うちの会社に来い」って言われて、決まっちゃった(笑)。

◆だんだん週休が増えて農作業ができるようになりましたよ

会社は東京都小平市にあったから、ちょっと遠かった。でも時代の流れで週休がだんだん増えてきたでしょう？おかげで家の仕事もだいぶ手伝えるようになりました。

途中で関連会社に移って、人事やら経理やらやって、56歳で退職しました。今は定年は65歳だけど、私が入社したころは55歳が定年だったんですよ。だからね、もうそんなに働かなくてもいいやって思ってね(笑)。それを1年引きとめられたってわけです。

◆土地があるから一生懸命がんばって来られた

東急の土地買収がはじまったのは、昭和28年ごろからでしたね。1坪が500円、1反が15万円だった。なんだか手当たり次第に買収してましたよ。

田園都市線の用地は売らないで等価交換することもできたんです。等価っていても3割ぐらいその後の区画整理で面積は減るって感じでした。でも、土地は売らないで等価交換しました。

土地があるから一生懸命がんばってこれたんです。以来ずっと土地を守ってきましたよ。

筈は区画整理により出荷はしなくなりましたけどね。

戦争が終わってから、この辺もどんどん変わっていったねえ。電車が通ったし、区画整理もされたし。

そうそう、国道246号線は、「こどもの国」ができたときにアスファルト舗装になったんだよ。

◆我が家は兵士の面会用宿舎だったんだ

宮崎台に高射砲の陣地があったんだ。今の二葉幼稚園のあたりだったね。

馬絹郵便局は、兵隊さんが給与を郷里に送るために利用されてたんだって。

私らが住んでいた辺り、後に宮崎中学校になったところには陸軍第 62 部隊の兵舎があったて、近所の農家は軍用地にはならなくて、入営者に面会に来た人の接待所になってたの。おかげで農業も続けてもよかったし、強制疎開もなかったの。

戦争が終わってから、宮崎中学校では兵舎をそのまま校舎として使ってたよ。青少年の家は、戦災孤児の収容所としても使ってたけど、一部を中学校の講堂や体育館として使っていたんだ。本部の前のところには大きな丸い池があったなあ。

何しろ軍用地は広がったから、他にも色々な学校が使ってたよ。県立川崎工業とか善隣大学（後に明治学院大学になったね）とか、大西学園とか、いろんなところが使っていたんだ。

兵舎の跡地は虎の門病院、宮崎中学校、青少年の家、宮前生活環境事業所や引揚者の宿舎に使ってた。今も住宅として使われているよ。

防空壕はもう残っていないね。区画整理の時に埋めたんだね。

◆緑が随分減りました

区画整理前、1 丁目と 2 丁目の境目の竹やぶの辺りに湧水があったよ。私の家のところから梶ヶ谷小学校の方に流れて、矢上川に合流してた。だんだん水が少なくなったし、今はもう暗渠して埋め立てちゃってるけどね。

水だけじゃなくて緑も随分減りました。

昔は小動物もいろいろいましたよ。野ウサギ、イタチ、モグラ、ヘビ、あとミミズもね。今はもう見ませんねえ。

でも、ネズミはまだまだいますよ。栗ネズミ、野ネズミ、ドブネズミ、ハツカネズミなどね。ネズミは野菜は食べないけど、サツマイモを食べて困るんだ。サトイモは食べないんだけど、サツマイモは畑全部食べられちゃうよ。

◆33年間ずーっと町内会長やります

昭和 57 年に高津区は宮前区と分区して、その時にこの地域は梶ヶ谷 1 丁目町内会が誕生したんです。分区するって知らされたのは、実施のほんの 3 カ月ほど前でしたよ。

できたばかりだから町内会集会所もなくて新しく作ったの。で、私が初代町内会長を引き受けました。当時はまだ現役サラリーマンでしたね。以来 33 年間ずーっと町内会長を続けてますよ。

会員は現在 120 軒、600 人ぐらいです。

プレハブを2棟タダで貰ったので、1棟を町内会の事務所にして、もう一棟は倉庫にしています。それまでは私の自宅で集まってました。

町内会では毎年もちつき大会やバーベキュー大会をやっています。他所に移って行った人でもここで育った人にはね、声掛けして、孫も連れて来てもらうんですよ。

いつも賑わって、楽しいですよ。

(平成26年9月5日実施)